

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



**JF**  
JF香川漁連

高松市北浜町 8-25  
TEL 087-825-0350  
FAX 087-851-0699

# 謹賀新年

## 香川県漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 服部 郁弘



年頭に当たり、謹んで  
新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会業務運  
営につきまして、格別  
のご協力を賜りありが  
うございました。

さて、経済状況はや  
や持ち直しているよう  
ですが、大手量販店の  
低価格競争などによる

デフレスパイラルの懸念  
もある中で、われわれ  
水産業界は、資源の  
減少、輸入水産物の  
増大、就業者の減少  
や高齢化・後継者不  
足等の問題を抱え、  
さらに燃油価格の高  
騰により漁業の存続  
さえ危ぶまれるとい  
う状況となっております。

また、本県の漁業は、  
魚価の低迷・販売不  
振、ノリ養殖におけ  
る色落ちの問題等依  
然として厳しい状況  
が続いています。

県漁連といたしましては、  
本県水産業が抱える  
諸問題を克服し、将  
来に向けて安定的に  
発展させるために、  
養殖業・栽培漁業・  
資源管理型漁業の推  
進、新たな流通シス  
テムの構築等により、  
安全・安心な水産物  
を消費者に提供し、  
地産地消運動および  
子供たちに水産物の  
おいしさと栄養を学  
んでもらう食育を推  
進し、地域に根ざし  
た活力ある香川型漁  
業を確立することが  
急務であると考えて  
おります。また、漁  
業生産の源である豊  
かな海の環境保全に  
ついて、県民あがて  
の運動として取り組  
むとともに、ライフ  
ジャケット着用推進  
による海難事故の防  
止や漁業と海洋性レ  
クリエーションとの  
共存をめざす海面利  
用の適正化に取る  
組む必要があります。  
漁業基盤の強化を推  
進し、担い手の確保  
や都市住民との交流

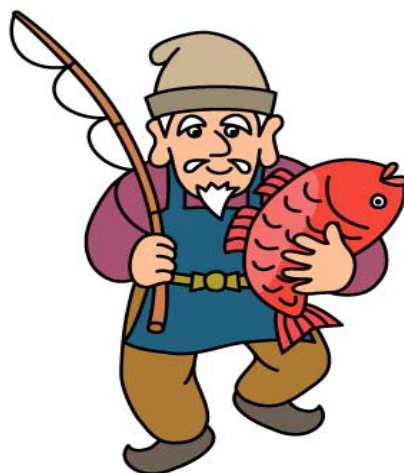
などに取り組み、う  
るおいとにぎわいの  
ある漁業地域づく  
りを進めていくこと  
も今後の重要な課  
題です。

漁協組織の再編整備  
につきましては、1  
県1漁協を目指した  
合併推進協議会の設  
置が諮られました  
が、残念ながら県1  
漁協合併は当面見  
送りという結果と  
なりました。今後は  
、会員の負託に応え  
られる組織の再構  
築が重要課題であ  
り、引き続き県内  
漁協の合併推進お  
よび経営改善指導  
に取り組めます。ま  
た、昨年11月には  
漁協創立60周年記  
念大会を開催し、  
未来ある香川型漁  
業を目指すべく決  
意を新たに致しま  
した。

昨年はさぬき海の幸  
ハマチ・ノリ・イリ  
コ販売促進実行委  
員会を組織し、香  
川おさかな大使に  
よる県魚「ハマチ  
」やノリ・イリコ  
の消費拡大キャンペ  
ーンを県内外及び  
シンガポールなど  
で実施し、消費者  
の皆様に県内水産  
物のおいしさを知  
っていただきました  
。本年も引き続き  
、本県産水産物の  
消費拡大に取り組  
む所存です。

本年も、厳しい経  
営環境が予想され  
るなか、会員・所  
属員の経済的、社  
会的地位の一層の  
向上を目指して諸  
事業に取り組んで  
参る所存でありま  
すので、会員各位  
をはじめ関係者諸  
賢におかれまして  
は、なお一層のご  
協力をお願いし  
上げる次第であり  
ます。

最後に、皆様方の  
限りないご繁栄と  
ご健勝を祈念いた  
しまして、新年の  
ご挨拶と致します。



## 香川県かん水養殖漁業協同組合

## 代表理事組合長 嶋 野 勝 路



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

新しい年が組合員皆様にとって明るく、より良い年でありますようお願い申し上げます。

我が国の経済状況は依然として不況感から脱却しきれずデフレの様相を呈しています。

顧みますと昨年のかん水養殖業は、餌料の価格は安定したものハマチ・マダイ・トラフグ等は安値で推移し唯一、カンパチだけが堅調な価格で維持できましたが、経営収支は不安定な状況となりました。

然しながら、明るい兆しも見え香川ブランドハマチ三兄弟として、ひけた鰺・直島ハマチ・オリーブハマチが県内外で好評をばくし、特にオリーブハマチは香川県かん水が商標登録を取得して、本格的な生産に取り組み50,000尾の販売を敢行しました。

既にオリーブぶりの商標登録を申請しており、かん水ブランドの確立に向け官民一体となり販路拡大に努めて参る所存です。

一方、長引く販売価格の低迷から経営収支の悪化は即、資金繰りの困難さを伴い国に対し、全漁連・全海水が要請していた緊急保証対策事業が実施される事となり、運転資金の乗り換えにより、償還延長が可能となりました。

本年も魚類養殖は、ハマチ・カンパチの品薄感から中間魚の入手が困難と予想され、ミール価格も高値で推移しており厳しさは予断を許さない状況となっておりますが、逆境に耐え養殖業本来の使命である安定生産・安定供給を標榜しつつ、計画生産を遵守していくことが安定価格につながっていくものと確信しております。

今後も香川県漁連と連携を図り役職員一同、心を新たに本組合運営に邁進する所存でありますので、組合員皆様には尚一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 香川県海苔養殖研究会

## 会 長 森 朝 征



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

国内経済が低迷している中、個人消費も低調に推移し、物価の下落傾向が続いております。各ノリ商社においても、納入価格の値下げ圧力の強化、

消費の減少、在庫増加というマイナス要因が、ノリの価格へ与える影響が心配されます。

今漁期を迎え、10月の栄養塩は過去にない低い値となり心配されましたが、10月中旬から始められた育苗は、ほぼ順調に種網の育成が行なわれました。本張りは11月中旬以降から開始されましたが、例年になく食害などにより摘採できない網が非常に多かったことや、12月中旬の強烈な寒波の影響で年内生産量は伸びませんでした。

栄養塩は、11月に入ると定期的な降雨の影響等で徐々に増加し、12月にはほぼ平年並みになりましたが、珪藻プランクトンの増加が気になりとなっています。どうか、1月以降も順調に生産が続けられることを願うしだいであります。

本年は、昨年設置された「さぬき海の幸販売促進実行委員会」の事業の一環として、イベントを開催するなど香川県産ノリの普及PR活動に力を注ぎ、今後の消費拡大に役立てて行きたいと思っております。

最後になりましたが、皆様方のご健勝ご多幸と平成21年度漁期におけるノリの豊作をご祈念申し上げますとともに、関係各位の尚一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。



## 香川県無線漁業協同組合

## 代表理事組合長 服部郁弘

新年明けましておめでとうございます。平成22年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当組合の事業運営につきまして、組合員を始め、関係官庁・関係団体の皆様には、多大なご協力とご支援を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

さて、昨今の水産業界は組合員の高齢化・後継者問題・漁場環境の悪化による漁獲減や魚価の低迷に加えて、政権交代による水産政策への不安など漁業を取巻く情勢は厳しさを増しております。当組合におきましても高齢化による組合員の減少や携帯電話普及に伴う無線利用者の減少など多くの問題を抱えております。今後も厳しい状態は続くと思いますが、現在の漁業無線は操業の効率と航行安全を確保する情報手段のみならず、特に海上における事故の通報処理に大きく役立っており、一斉呼び出し等の優れた機能を持っております。

当組合では21年度事業の一環として、操業中の海中転落事故に対応した小型漁業緊急通報システムの本県への普及について検討しており、21年2月の役員研修では大洋無線㈱が開発した「小型漁船緊急支援連絡装置」の運用について説明を受けました。これは携帯する小型発信機から自動的に救急信号と位置データを海岸局へ発信し、自船も自動的に停止するというものですが、設置価格が高額であり、かつ昨今の厳しい漁業経営に反映され、未だ普及には至っていないのが現状です。

また、緊急通報システムに関連した全国的な主な動きとして、電波法の改正による安価な国際VHF無線機の導入、GPS機能を搭載した小型船舶位置情報伝送システムの普及などがありますが、周波数の違いや使用できる漁業種が制限される等の改善されるべき問題点も多く、当組合でも今後の普及に向け、22年度も更に調査・検討を続けていきたいと考えております。

今後も当組合は、本県の重要な基幹漁業である漁船漁業の発展のため、漁業無線の円滑な運用に努め、地道に努力を続けていく所存でございますので、組合員各位を始め、関係官庁、並びに関係団体からのご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

## 社団法人 香川県水産振興協会

## 会長 服部郁弘

新年明けましておめでとうございます。

平成22年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は、本協会の業務推進につきまして、会員を始め関係者皆様には格別のご支援、ご指導を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、21年度の本協会事業は、漁船漁業の資源生産向上対策として、大型種苗放流事業を継続実施し、また放流効果実証事業の一環として、DNA分析によるクルマエビの放流効果調査を2カ年計画でスタートしました。長年の課題であった放流効果を科学的に実証できるものと大いに期待しており、今後の放流事業に生かしていければと考えておりますので、会員の皆様におかれましても、調査等へのご協力をよろしくお願いします。漁場環境保全対策としては、海面・海浜清掃事業等への支援、漁業操業安全対策として、ライフジャケットの設置・着用促進等を積極的に推進してまいりましたが、着用率は未だ低いのが実態であります。今後は、昨年10月に海難事故未然防止のため、ライフジャケット着用推進運動の展開を旗印に発足した、県漁協女性部連合会によるライフガードレディースかがわ、県水産課、県漁連、海上保安部等関係機関と協調し、着用推進に努めたいと思います。

また、昨年は「さぬき海の幸（ハマチ・ノリ・イリコ）販売促進実行委員会」に参画し、県並びに関係団体と連携して、県内外においてさまざまな販売促進事業に取り組みました。12月には京阪神地域において「流通懇談会」や量販店での「香川県フェア」を開催し、香川県産の養殖ハマチを中心に、いりこ、海苔等の県内水産物の消費拡大を促進するとともに、学校給食への食材活用等、地産地消・食育の推進にも努めました。

22年度も、引き続き本協会の中核的事业である放流事業を始め、海難予防を徹底するために漁業操業安全対策事業、他各事業の一層の充実化に努めて参りたいと思います。また、「新公益法人制度」への対応につきましては、現在作業部会を設立し、移行準備を進めているところであります。

つきましては、本年度も本県水産業の振興に寄与する所存ですので、倍旧のご協力、ご鞭撻の程をお願い申し上げます。最後に、平成22年が輝かしい年となりますよう祈願し、併せて会員並びに関係者皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 全国漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 服 部 郁 弘

新年明けましておめでとうございます。

漁業者の皆様並びに J F グループの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

わが国漁業・J F グループを取りまく環境は、国内外の経済・社会情勢がめまぐるしく変化する中、資源の減少、漁業者・漁船の二重の高齢化進行による生産構造の脆弱化や燃油価格の再上昇など今後も厳しい状況が予測されます。

我々 J F グループは、昨年 10 月に開催した「J F 全国代表者集会」において、今後取り組むべき 5 年間の新運動方針「J F グループ 組織・経営・事業戦略」を採択しました。

2010 年は、運動期間の初年度となりますが、本運動方針の重点取組事項は①組織・事業再編と人づくり、②経営改革に向けた取り組み、③事業改革に向けた取り組み、④協同組織の強み発揮と漁業・漁村への貢献—の 4 点を掲げ、基本的な考え方に「J F の原点への立ち返り」を置き、J F グループの組織・事業の将来方向を決する新たな方針として不退転の決意で諸改革に取り組むことを決定したものです。

昨年は、政権交代という歴史的な転換期の中で、政策決定の場においても新しい価値観・手法によるシステムが構築される場面がありました。しかし、国民が我々 J F という協同組織に期待するのは、安全・安心な水産物の安定的供給をはじめ、漁村振興や環境・生態系保全への取り組みなどをはじめとした多面的機能の発揮など、J F グループが本来、基本として取り組んできたものです。我々は、この重要な使命を再認識しながら自らの改革に取り組んでいく必要があります。

しかし、このような役割を果たし食料供給の担い手の育成・確保を図っていくためには、まず安心して漁業を営むことが出来なければなりません。「漁業共済」や「積立ぷらす」の拡充による漁業収入の安定、コストの太宗をしめる燃油・飼料の高騰に対するセーフティネット措置の創設によ

る漁業所得政策の確立などが重要な課題です。

一方、産地市場の価格形成力を向上させ、漁業者の手取りアップを目指すためには、魚食の推進や地産地消における新たな消費者層の開拓などに J F グループが強力に取り組んでいくとともに漁業者自らの取り組みへの参加も必要だと思えます。

J F 全漁連としましては、我々 J F グループの改革への取り組みや必要な政策の実現に向けて広く国民への理解を深めていくことが重要であり、このような取り組みのもとで現在水産業が置かれている厳しい状況を踏まえ、漁業者及び J F グループの声を反映した漁業経営の安定につながる仕組みが一刻も早く構築されるよう一層の努力を重ねていく所存です。この一年の操業の安全、皆様方のご繁栄とご健康を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 乾ノリ初入札

平成21年度県内産養殖ノリ（乾海苔）の初入札会が、12月16日（水）高松市瀬戸内町の本会共販所において、44商社110名の参加を得て開催された。昨年同様に本張りが早い小豆島・直島地区を中心に県下18漁協より1回～2回摘みのノリが出品された。共販枚数は25,952千枚、金額2億4,371万円、平均単価は9.39円/枚であった。

### 主な行事予定（1/1～1/31）

1月4日（月） 仕事始め

5日（火） 新年初市祈願祭（中央卸売市場）

8日（金） 第3回乾のり入札

19日（火） 第4回乾のり入札

28日（木） 第5回乾のり入札